

東京亀城会々報

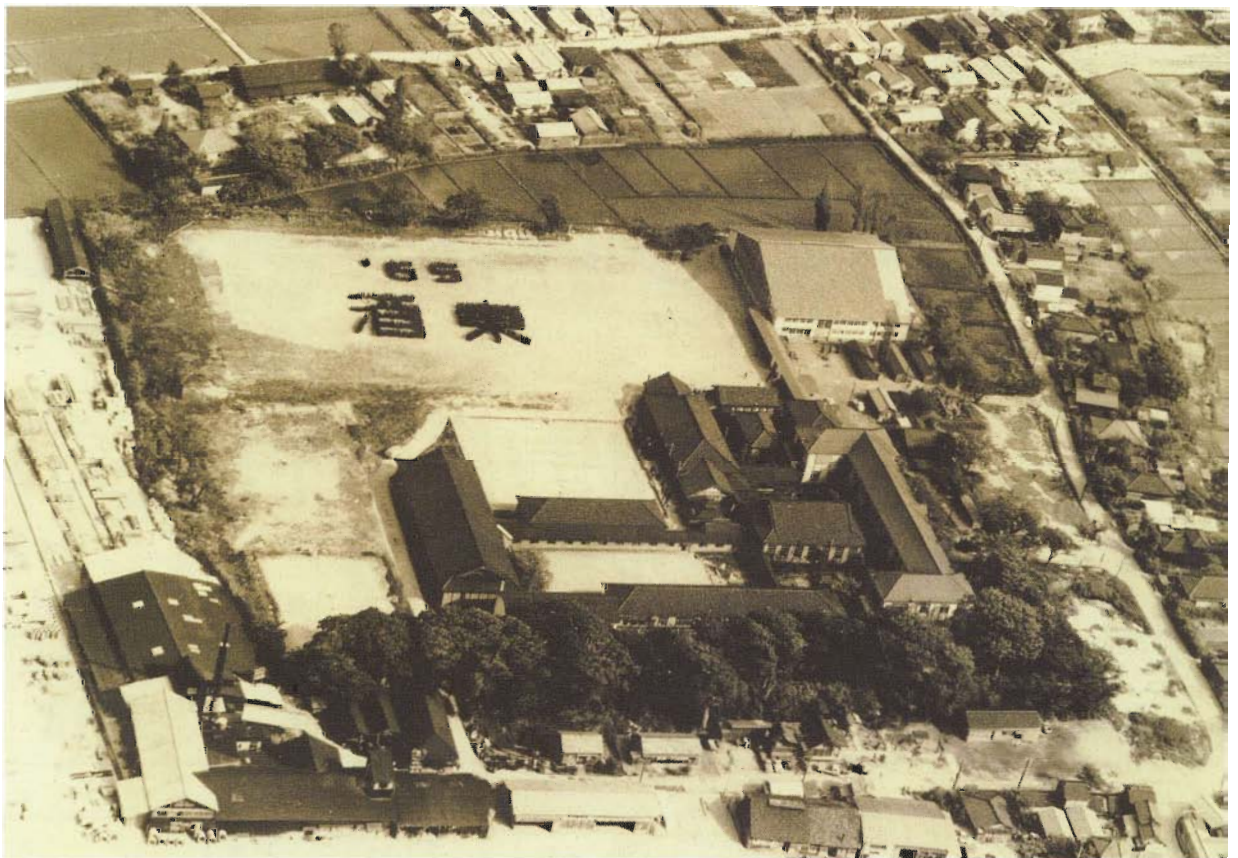
第26号
発行
平成18年6月15日



最上の流れにうるほふ里の
学び含みどりの希望はみちて
明るしや 清けしや
我らの園 我らの門
あしたに夕べに集ふ
手を引き助けて円かに睦みて
愛あり仁ある人とならん



ああ兄よ鳥海七千餘尺
虚空に聳ゆる巨人の姿
黙示に学びてわれらの健児
六百並んで高きに向ふ



[41回卒業アルバムより]

平成18年度 東京亀城会総会・懇親会

- ◎日 時 6月24日(土) 12時から開催
- ◎会 場 レストラン キャッツル (千代田区内幸町・イイノビル9階)
- ◎担当年次 31回・41回・51回・61回卒業

新役員候補・会長ご挨拶・母校報告

六、拡大理事会・会務執行理事会

○拡大理事会

平成一七年 四月一六日（土）

○会務執行理事会

平成一七年 五月一四日（土）

平成一七年一〇月二日（土）

平成一七年一二月一七日（土）

平成一八年 三月二五日（土）

新役員候補

新役員候補

平成一八年四月一五日に開催された東京亀城会拡大理事会において、向こう二年間の新役員案が審議され、次のような推薦案となりました。（敬称略）

○顧問

内山 啓司（二五回）

佐久間 正（二二回）

○相談役

藤井 重信（二二回）

越後谷悦郎（二六回）

大川龍太郎（二二回）

佐藤 郁雄（二三回）

鈴木 藤男（三一回）

大滝千佐子（三二回）

野口 和雄（二三回）

五十嵐昌士（二八回）

本間 英生（二九回）

岩谷 純子（三二回）

○会長

上林 茂（二七回）

○副会長

相川 俊明（二三回）

本宮 正幸（三六回）

後藤 吉修（三九回）

元木 徹（四二回）

○監事

広瀬 武（三二回）

松岡 毅（三八回）

新たな出発



東京亀城会会長
上林 茂
(27回)

新しい年度を迎え、東京亀城会の皆様お変わりありませんか。

東京亀城会は今年度より新しい役員の皆様を迎えて、次期年度に向けて新しい出発をすることになりました。皆様のご支援、御協力よろしく願っています。

本来なら、一八年度からは次世

代の人達にバトンタッチをと考えていたのですが、諸般の事情によりもう一期二年会長職を勤めさしめていただく予定になりました。

母校、酒田東高等学校も東京地区の庄内地区の高校の各同窓会も若い世代の会長さん執行部になっています。

東京亀城会もぜひ若い人達の参加をいただいて活力あるものになりたいと思っています。同期会から執行理事の推薦を宜しく願います。

東京亀城会もぜひ若い人達の参加をいただいて活力あるものになりたいと思っています。同期会から執行理事の推薦を宜しく願います。

着実な成果



校長 幸重
船越 幸

東京亀城会の皆さまにの母校に對する熱い思いに感謝申し上げます。これまで継続的に物心両面の応援をいただけてきましたが、昨年度は二年修学旅行班単位の企業・大学訪問における対応、創立記念式典の記念講演や、同窓会総

会の日程に合わせた一学年進路講話への講師協力、個別にいただいている生徒への応援など、多大な支援をいただきました。

それらの応援も受けながら、昨年紹介させていただいた「新生酒東」の取り組みも着実な成果を出しており、外部模試の成績にも反映されています。石川学年主任始め三年担任団は、来春の大学入試に結果を出すために更なる計画を立てており、期待できると確信しています。二年生、一年生も大きな幹の取り組みは継続しながら、それぞれの学年の主体的な取り組みを続けているところです。

また、校舎建築についても順調に進んでおり、来春からは新しい校舎で学ぶことができることを、楽しみにしています。

私ども酒東教職員生徒一同は、いろいろな応援を受けながら、今後も酒東活性化のために取り組んでまいります。

幹事年特集・卒業アルバムから<31回>



タンフリング



綱引き

あっけない三年間の高校生活だったが、その中に喜びがあり哀しみがあった。感激があり失望があった。(中略)大きな望みをもって入学し今更に拡大された視野と野望を抱いて母校を去る。

(編集後記より)



4組



1組



5組



2組



6組



3組

幹事年特集・卒業アルバムから<41回>



新田川を背景に

このアルバムは成人した時のあなたに、家庭をもった時のあなたに、ヨボヨボになった時のあなたに……。楽しかったこと、つらかったこと、悲しくて泣きたくなったこと……。すべての思い出が懐かしく心の中に浮かび上がってくることでしょう。

(編集後記より)



黄色い声援の球技大会で打つ

文化祭



“踊る”遠足



運動会の花・棒倒しと騎馬戦

母校出身で活躍するたくさん先輩たちがいる。四一回卒の北重人さんもその一人で、九九年にオール讀物推理小説新人賞を受賞。文芸春秋から松本清張賞受賞候補作の『夏の椿』と『蒼火』を出版している異色の時代劇作家である。仕事場近くの神楽坂の出版クラブ会館でお会いした。

○普段は(株)LAU公共施設研究所の常務取締役で、都市計画やまちづくりのお仕事をなさっているとのことですが、小説を書き始めたきっかけは？

―学生時代、多少書いていたのですが、今の仕事を始めてからは全く書いていませんでした。パブルがはじめてたときに不眠症が続き、眠れないのでワープロで時間潰しをするうちに短編ができ、そのうちだんだん長編を書くようになりまして。小説っていうのは書き出すとやめられなくなります。○松本清張賞に応募された『夏の椿』の受賞は惜しかったですね。



―応募を決めてから半年で六百枚書き上げなければならなかったんです。平日はめいっぱい仕事をしていますから、土日しか書く時間がない。最初はなかなか進まなかったのですが、最後の四日間で言葉が雨のように降ってくるという神憑かり的な状態で、一八〇枚を一気に書き上げました。そういうときは不思議とほとんど打ち間違

あの先輩に会いたい！



時代劇ミステリー作家・41回

北重人

インタビュー・文

佐々木 亜希子

活動弁士・63回

えもないんです。これはいける！という自信があったので、最終選考で票が割れて受賞を逃したときがっかりしました。

○評価は高かったようですが。

―伊集院静氏と大沢在昌氏が最後まで押して下さったそうです。

○なぜ時代劇を？

―仕事のために歴史を遡って街の仕組み、構成、文化などを調べる

うちに、得体の知れない都市の成り立ちに非常に興味を持ったんです。さらにそこに住む人間たちにも。時代物の小説は調べものにとっても時間がかかるのですが、それが楽しく、さらに仕事のストレス解消にもなっていましたね。

○江戸時代の酒田を舞台にした時代小説をお書きには？
―現在連載中の短編小説は酒田を舞台にしています。私は山椒小路というところで生まれたのですが、山居倉庫の荷揚げ場の辺りに河岸八町といって八つの小路があったんです。そこを舞台して八つの短編を書いていきます。

―よく言われます。でも、建物の

○酒田や母校への思いは？



プランニングは、小説の全体を構成していく作業とよく似ています。また、長い間生きてきて、生きるってこういうことだよな、と体験から感じていることを小説の中に著している気がします。

○今後は？
―小説をもっと書きたい。時間が欲しいです。

○あるかも。藤沢さんの小説は三代後半にだいたい読みました。

○ありがたいございました。これからも楽しみにしています。

齋藤 裕先生元氣だが



四一回卒の齋藤です。一九七〇年四月に教員となつて、二〇〇八年三月に退職となります。その間、一九七七年から一四年間、母校の酒田東高校で勤務させていただきました。現在は酒田工業高校に勤務しています。

物忘れや、肉体的な衰えを自覚しつつも、気持ちはまだ若いつもりでした。洗顔のとき鏡に映るわが顔を見ても、まだ若いと思っていました。ところが今年になって、わが年齢を確実に意識させられる事件(?)がありました。それはテストの問題用紙を配布していたときのこと、枚数を数えるのに少し手間取っていました。テスト開始前の少しざわめきの残っている教室内

から、「爺ちゃん」というやつと聞き取れるような声、そして笑い声。

しばらくして、親睦会の折に撮られていた写真に映っているわが顔を見ました……。

それ以来、山菜採りだ、魚釣りだと騒げるのはもう何年だろう、といったようなことを考えるようになりました。しかし、弱気になつてはいられない。同期の渡辺(北)重人君が時代小説を書き、後藤一朗君がフォトコラージュで頑張っているじゃないか、老けこむにはまだ早い。あと二年弱で毎日が日曜日じゃないか。そんなとりとめないことを考えたり、ときには生徒たちと悪戦苦闘したりといった、平凡な日々を過ごしています。

最後に、東京亀城會のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念し、拙文の筆を置かせて頂きます。

上林眼科 医院

院長 上林 茂

(昭和十七年卒業)

〒三六二・〇〇四七
上尾市今泉三六五・一六八
TEL 〇四八・七八一・〇二九〇
FAX 〇四八・七二六・一五七〇九

佐々木特許事務所

弁理士 佐々木 重光

(昭和三十三年卒業)

〒一〇五・〇〇〇三
東京都港区西新橋一ノ七ノ一四
電話 〇三・三五八・八五一八
FAX 〇三・三五八・八五一九

相川・田中法律会計事務所

弁護士 相川 俊明

(昭和三十三年卒)

東京都新宿区四谷一―九
有明家ビル6F
電話 〇三・三三三・四六三八
FAX 〇三・三三三・四三二八

税理士 飯野 紘

(昭和三十四年卒業)

〒一〇二・〇〇七六
千代田区五番町二
電話 三三六・一〇六九一(代)
FAX 三三六・一〇六五五

エレクトロニクス部品総合商社
株式会社 栄 電子

代表取締役 長 染谷 英雄

(昭和三十五年卒業)

〒一〇一・〇〇二一
東京都千代田区外神田六丁目五番二号
電話 〇三・三八三・六八二二(代)
FAX 〇三・三八三・六八三〇

G&N
企画・建築・設計

代表 丸藤 晋

(四六回卒)

〒九九八・〇八四三
山形県酒田市千石町一七―二八
電話 〇二三四・(二五)八一五四
FAX 〇二三四・(二五)二八〇〇

進藤弘 税理士事務所

税理士 進藤 弘

(昭和五十二年卒業)

〒一〇五・〇〇〇一
東京都虎ノ門二丁目一四
電話 〇三・(三五九七)一九三〇
FAX 〇三・(三五九七)一九三〇

桜井耳鼻咽喉科

櫻井 淳

(五二回卒)

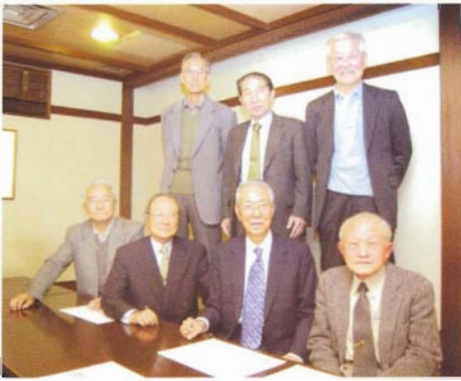
〒一一五・〇〇四
東京都葛飾区東金町一四―一三
電話 〇三・五六九・四一三二

16回

今年もさがみで

庄司悌二

平成一八年度酒中一六回卒の「寿保会」は有楽町のニュートキーヨー二階さがみで東京都並び近県在住の七人が集いました。写真後列右側から東京都元主事高橋浩税理士、元莊魂塾々頭高橋幸吉、元電通部長斎藤藤敬二、前列右側から元酒田高校教師庄司悌二、セイコーエプソン元社長中村恒也、東京工業大学元教授越後谷悦郎博士、花王元部長今野誠の七寿老人。先ず戦死並びに故人となられた同年卒業生に黙祷。一三時開会し、今回故郷から集まることが出来なかった人々の話題から始まり、自



分の老いたる状況を話題として酒肴が進み二時間後に一本締で解散した。

22回

喜寿の集い

白畑 悟

四月二二日(月) 正午、五反田ゆうばうとに第三回卒の八人が集まった。在京級友の三分の一である。年ぶり、二年ぶりの顔もある。近況報告となった。「病気の話はなしだ」の声あり。七七年も生きていればガタが来ている当然。酒量も大幅に減った。これも摂理。しかし、みんな一六歳に戻ってしゃべりまくった。愛国心のこと、若者のこと、日本は減びる一と。ニセメールの国会論戦より実のある発言が多かった。酒中のレベルは高い。その片、みんな軍国少年だった。八人のうち、海軍の予科練二人、兵学校二人、陸軍経理学校一人。五体満足な奴はみんな軍人になった。日本中が軍国主義だった。五年戦争の最中のこと。中にひとり、ませた文学少年がいたけど。そして今、予科練の一人は、若くして第一回多喜二・百合子賞を取ったが、貧乏作家だ。色分けす

れば、左派もいるし、右派もいる。戦後六〇年、それぞれに生きてきたのだから。とはいっても、彼は狩川の汽車通学、彼は川南の自転車通学…みんな底が割れている。格好つけても仕方がないのだ。そこが級会のいいところだ。五時間しゃべって別れた。来年も自分の足で歩いて集まれることを、互いに祈りながら……。



28回

意気軒昂

成田恒夫

最上の流れにうるほふ里の…高木東六作曲の酒東校歌で幕開けた「酒東二八会の集い」は東京二八会と東北各地から一二名を

含む七三名の参加を頂き、平成七年一月一日に酒田・櫛で盛大に開かれました。

今回の最大の特徴は「国際親善スピーチと詩吟・祝舞」を四名の会員が引き受けてくれ、若々しく発表してくれたことです。故伊藤前会長(外科医)が常々言っていた「五〇、六〇花なら蕾、七〇、八〇は花盛り、一〇〇になったら実を結ぶ!」を思い出し、「夜明けのうた」を最後にお互いに健康と再会を誓い合い解散。東京二八会総会は一二月一五日レストラン・キャッスル(内幸町・飯野ビル九階)の予定です。



29回
古希記念
帝国ホテルに八五名
大参集
富樫弘喜



東京ふくの会古希記念総会は九月二四日(上)帝国ホテルで開かれました。北は盛岡・南は沖縄から遠路組一五名を含め予想を超えて八五名が参加、会場も急遽「福の間」より「孔雀南の間」に変更して頂きました。

乾杯の後、フランス料理、寿司を一口一杯にしながら、昔話とか健康とか、今はどうしているか等々あつと云う間の、時間半でした。

足掛け三年の歳月をかけて完成した「東京ふくの会卒業五〇周年記念誌」を記念品として持ち帰り頂き二次会会場へ移動。「深川資料館」を見学し、紀国屋文左衛門が造成した「清澄庭園」の別室にて飲み直し歓談、お開きとしました。

「記念誌」は母校をはじめ関係者に贈呈。会員からは中学時代の恩師とか、田舎の友達に送って欲しいと今でも連絡があります。さて、今年の総会は五月二七日(土)、何名参加してくれるかな。

31回
遊廓巡り

小山嘉吉

関東三一会では年に数回イベントを行っているが、今年第一回は一月新年会、そして第二回は五月二三日の吉原遊廓巡りであった。遊廓と言っても我ら齢六九歳、すでに遊ぶ実力は(多分)これ無く、新五〇〇〇円札の樋口一葉に因んで、吉原界隈の歴史散策を行った。

参加者は九名、一〇時に雷門出発、浅草寺参詣、待乳山聖天、山谷堀公園、一葉旧居跡などを巡り一葉が「たけくらべ」を書いた往時を偲びながらの散策であった。

新しい発見あり東京近辺にいながら、近くには知らないところがあった。沢山ある事を知らされた散策であった。合羽橋「どぜう」でビール・酒を飲んで往時の吉原を語り合いながら、昼食を楽しんだ。



左より真田守之、梅木広喜、阿部源一、北原博、齋藤源治、川俣晃、瀬津行雄、阿部明

34回
童心回歸

浅沼久美子

同期生は、逢えば童心に帰えることが出来る楽しい仲間達です。振り返れば、童心の触れ合いの光景を微笑みで思い出します。

静謐秋空の下、名物「大鍋」を囲みませんか? の呼掛けに、昨年九月三日、三四会の四八名が上山温泉の「占窯」に参集しました。翌日の山形市主催芋煮会の「日本一の大鍋」を造成なさった長瀬さんよりサイズ、材質等のご説明を頂きました。

そして、再会を祝して乾杯! 懐旧と近況を語る宴に古窯の夜は熱く熱く更けて……。角田会長より「俺達が集まった時に唄う歌を作って」に応えた拙い歌詞を皆様が心よく合唱に、感激!

翌日の芋煮会場では幹事さんのご手配良しく待たずに大鍋の芋煮を食べ放題、満腹満腹。来年は東海地区担当とのこと童心回歸の一時が楽しみです

離合集散、世の習い、再会を約して散会しました。角田会長、幹事の皆様に深謝。



35回

珊瑚悠々（自適）

後藤正治郎

故郷を離れて四五年、すでに還暦を過ぎ悠々自適の環境に差し掛かって来ているのが珊瑚の会の会員のほとんどです。新年会、暑氣払いなど集まっていたの故郷「酒田」の話はあまり活気のある話よりは暗い話がほとんどです。そんな中、某君から故郷への恩返しは今、我々に出来るのではないか、今までの経験や、知識、技術、これらを故郷へ提供出来ないかと模索が始まりました。

昨年四五周年記念大会を酒田で開催しましたが、その時改めて、



故郷の経済の落ち込、活気のなさを肌で感じ、悠々とほして居れないという思いが強くなりました。折りしも宗雄司君が亀城同窓会会長に就任したのでをきっかけに話は、実現の方向へ一歩を踏み出しました。故郷へなんらかの恩返しができるかと思ひは我々同期ばかりでなく先輩、後輩も思ひは同じではないかと思ひます。東京亀城会会員皆さんの協力を期待します。

36回

パソコン通信で
仲間意識盛ん

齋藤昭一

IT革命の先端を走ろうと、会の連絡を数名のメンバーがパソコン通信で始めた。

電話と違い、あまり相手を拘束しないで、連絡を伝えることが出来る。又、写真や文書ファイル等も添付可能で、連絡には好都合の武器となった。今では、山麓会員五〇名程のアドレス登録となる。北や南と会員が日常の出来事の連絡を茶飯事に行い、仲間意識に燃えている。

尚、今年、首都圏支部定例会は、ご同伴参加で六月四日（日）午後一時よりホテルパシフィック東京

で開催する。本部定例会は例年通り、八月一日（火）午後五時三〇分よりホテルリッチ酒田に席を準備しています。帰省者は是非ご参加戴きたい。

写真は昨年のホテルリッチ酒田での親睦会の様子です。



38回

まだまだ元気

松岡 毅

二月二六日、浅草「神谷バー」と「シダックス」で関東地区酒東三八会が盛大に開催されました。

遠くは岡山県、宮城県からも同士が寄り合い、和気あいあいの中で限らないおしゃべりと歌が続きました。

出席者は次の方々です。

- 一組・松岡 毅、古崎栄子
- 二組・伊藤治之、齋藤雅克、村田 晃
- 三組・奥山 武、菊池文英、齋藤正武、佐藤 競
- 四組・斎藤 育、鈴木敬子
- 五組・阿部 勉、渡部年雄、新倉郁子
- 六組・菊池紀洋、熊川聰士、富永健亮、堀 俊勝

全国にいる三八会の皆さん、毎年この会を催して下さるので、ご一報ください。

幹事・松岡 毅

田〇四七（四二四）三〇〇九

39回

義経になった男

後藤吉修

卒業四〇周年が終わった昨年は目立った活動はなかった。そこで……。

JR高屋駅の川向こうにある「仙人掌」をご存知でしょう。いまから八〇〇年前に義経一行が平



泉に向かったルートで常陸坊海尊が建立したと言われている。雑草とへびに埋もれ荒れ果てた「仙人掌」を自ら整地し甍らせたのが我が三九回の芳賀由也君である。名物「わき水コーヒ―」と「ソバ」もすっかり定着し観光客も年々増えている。

また、自ら船頭を務める川下り船義経ロマン観光、庄内の特産品を直送する最上川物産、また、創刊二〇周年を迎えたコミュニティ誌「最上川ふれあい広場」。更には旅行作家として、絵本『うみのむこうへ』、小説『五月雨の頃』、『義経を最上川に甍らせた男』、そして昨年の『義経と最上川』の執

筆など多芸である。更なる活躍を期待したい！

41回 恩師と散策

石井良和

5月初旬に渡部芳男先生が上京し、鎌倉散策をされるというので、同期二名が同伴して古刹めぐり。今年の五月は天候不順だったが、その日は快晴。締めくくりは海岸で先生持参のシェリー酒だったそうです。

平日の散策には参加できなかった同期に声をかけて日本橋で先生を囲む会を開催。当日参加者は総勢九名で、昔話に花を咲かせた。



秋には、先生と鎌倉散策をやるということになり、散会。

先生が日本橋に宿をとったので、隅田川まで歩き、川面を眺め、夜風に吹かれて酔いを醒ましなから、江戸時代の隅田川について語る。

54回 酒田で会いましょう

阿部浩美

今年も一月に梧葉会関東同期会が開催され、六クラス持ち回りの当番幹事も二順目に突入しました。一次会は一五名参加で新大久保の韓国料理店にて食べ飲み放題二時間があつという間に過ぎ、なかなか腰を上げないので店員さんに追い出されてしまいました。

二次会は恒例のカラオケで、過去最高記録の四時間、青春時代の歌を歌い続け大いに盛り上がりしました。今度は一泊二日の温泉旅行や、韓国や台湾、グアムへの海外旅行を企画しようと誓い散会しました。

今年は亀城同窓会の当番幹事年です。一生に一度の大役、皆力を合わせて盛会になるようがんばりましょう。一月一八日(土)酒田で会いましょう。

62回 この頃

宮本健一

誰かが転勤で東京近郊から去ってしまう時や、誰かが出張で上京してくる時に合わせて、思い出したように開催される無二の会。約一〇年前に発足してから、一番多い時には二〇名強、一番少ない時には三名で、年に一〜二回集まっていたのですが、昨年は、幸いなことに(?)転勤する人もなく、不幸なことに上京する連絡もなかったため、無二の会という形式では開催されませんでした。でも、それは、次に高く飛ぶための力を蓄える期間だったと振り返れるはずです。

来年は、卒業二〇周年。正確に数えると三カ月ほど早いけど、二〇〇七年一月二日にホテルリッチで記念同窓会を開催します。六二回卒の方、準備をよろしく！

46回葬会の2006年同期会案内イラスト
(イラスト・渡部淳士)



知性とパワーと 情熱のOB軍団

会長 中山 誠 (35回)

酒東柔道部首都圏OB回は今年も副会長の佐藤隆雄氏はじめ幹事の方々のご努力により盛大に行なわれました。

酒田からは本部の新会長になった土井武紀氏他三名も参加があり、年毎に盛り上がりします。

所が最近の東高への入学者は女子が多く男子が少なくなってきたりと事務局長の小山健氏の話でした。しかも人気のある部活動に集中し、柔道部の成立が難しくなってきたと現監督の中村光男氏の話もあった。



親交を深める

しかし、今年の二月の酒田武道館で行われた庄内地区周辺の市原寿蔵杯中学校柔道大会では将来オリンピックにも出場出来る素晴らしい選手にも巡り会いました。今後我々OB会のパワーに負けず頼もしい後輩の進出と活躍を期待したいと思います。



前事務局長 阿部鏐一さんを囲んで

丸藤 晋 (46回)

東京亀城会を長年にわたって支えていただいた阿部鏐一さんが酒



10年ぶりに再会

田へ帰られて三年程。当時、総会案内、会報の発送時は阿部事務所召集をかけられ、車座にぎゅうぎゅう詰めでの作業。終わると郵便ポスト数箇所へ投函しながら渋谷の鳥竹で乾杯……。

この五月の連休に東京から有志七名が帰省し、一〇名余で旧交を温め、一〇年ぶりの再会を楽しみました。東京亀城会を通して各界の、また数十年の年の差の老若男女が一同に会すること、東京亀城会に乾杯。



演劇の旅

木山 潔 (36回)

私と同期の人たちの多くは、すでに定年を迎えて、悠々自適あるいは第二の人生を歩んでいる。私もそうしたいのだが、演劇プロデューサーとして、なお多くの仕事をかかえているので、今すぐに引退を宣言するわけにはいかない。

六月、八月にスペイン内乱と家族愛を描いた一人ミュージカル「壁の中の妖精」を長野県と九州で三四ステージの巡演。九月六日

八日に私が初めて演出した「赤い鳥の居る風景」を新国立劇場（東京）で、翌一〇月にニューヨークのオフ・ブロードウェイで上演。

二月には人形芝居一座と自由民権運動をテーマにした「人形の夢ひとの夢」を上演する。時代と人間をみつめる厳しい仕事はまだ終わらない。



別役実作 木山潔演出
「赤い鳥の居る風景」舞台写真

写真集『料亭相馬屋』

設楽京子 (46回)

いつもの来酒は唐突で、しかも最もお気に入りの蔵部屋で朝から晩まで、とにかく時間の許す限り庄内の山海の珍味を肴に二日、三日、ひたすら飲み続けたという宰相吉田茂の長男、吉田健一。相馬屋に惚れて惚れて、とうとう店の看板を描いた日本画の巨匠、片岡球子。「料亭相馬屋」をこよなく

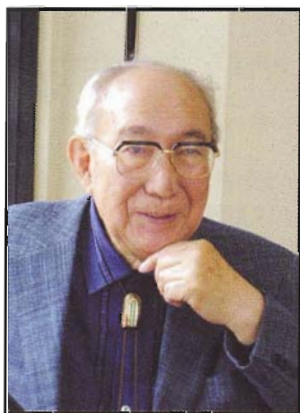
愛した文人墨客は、枚挙にいとまがない。

粹人たちが遊び、食通たちが絶賛し、同時に酒田の歴史文化を紡いできたこの空間は、酒田びにとって大切な宝物。次の時代へ、伝えたいを考え、まだ息遣いの残る料亭相馬屋を自然光で撮影。同書は全国販売され、六年の歳月が流れましたが、現在当社・ナイスさかたでも販売しています。電話は〇二三四―二二一六二七五です。

追悼

佐藤昌介相談役

夫故佐藤昌祐が生前には、いろいろと御指導賜りましてほんとうに有難うございました。早いもの



■さとう しょうすけ
大正9年 酒田市中之口町に生まれる
昭和12年 山形県立酒田中学校卒業
昭和16年 東京美術学校図画・師範科
緑り上げ卒業
昭和17年 山形連隊に配属
昭和21年 復員し 山形師範学校の
助教となる
昭和23年 山形青年画会を結成
昭和26年 退職し、東京に転居
昭和30年 線馬区美術協会創立
昭和33年 美術団体蒼騎会を創立
昭和53年 第18回蒼騎展で文部大臣奨
励賞を受賞
平成5年 線馬区文化事業功労表彰
平成17年 6月30日 他界。
酒田市特別功労表彰

で他界致しましてから一年になろうと致して居ります。

思えば昨年の酒田市美術館で開催致しました「佐藤昌祐油絵展」の時には、一カ月あまりホテルに泊って毎日美術館に通い、懐しい人々と時を共にする事が出来ました。

そして多くの人々よりいただいた懐しい思いを全身でしっかり受けとめ、感謝と幸福感を深く噛み締めて居りました。

ふる里の人々、空、海、山、川、美しい緑に囲まれた自然、美味しい空気、何もかも大好きなふる里でした。

「ふる里が近くなった。これからは時々帰りたい」と云った言葉を叶える事の出来ない淋しさを感じて居ります。

酒田中学校卒業後、東京の美術学校入学、日米開戦の為繰り上げ卒業、召集で中国中支戦線配属、

終戦（敗戦）、復員帰国後、画家を志しての人生は、ほんとうに大変でございました。多くの人々、特に亀城会の先輩、後輩の皆様からの御声援は何よりも勇気を振るい立たせていただきました。

そして、何時も山形県人、庄内の酒田人、その中の県立酒田中学校卒業生（亀城会員）として誇りを持つての一生でございました。

ここに故人に代りまして長い間のお励ましに深く感謝申し上げます。御礼申し上げます。

暑かったり寒かったり、今年は天候不順な年の様に思われますので、くれぐれも御身御自愛下さいます様、お願い申し上げます。

亀城会の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。



故・佐藤画伯とみわ子夫人



温泉「アイアイひらた」10万人達成！

昨年11月の合併により、平田町役場は酒田市平田総合支所となりました。

旧平田町では、自然を活かした観光振興に向け平成2年から温泉探索を行い、国道345号沿いの榎橋山の標高100メートルの頂に、昨年10月温泉施設「アイアイひらた」をオープンしました。

この温泉が酒田祭りの翌日、5月21日に、入浴者10万人を突破しました。この冬の記録的な大雪の中、地域の皆様のご愛顧により、オープンから七か月余り、営業日数209日目の達成でした。

このアイアイひらたは、高濃度温泉として評価も高く、平田地域の観光、交流の核として、また松山・八幡地域と共に新酒田市の魅力増進の一翼を担ってまいります。(佐藤富雄支所長)

e-なかネットはいい仲間ネット？

八幡地域は、情報インフラの整備が遅れ、都市圏との情報格差が生じておりました。又、ITを活用したサービスも全地域にわたって享受できない状態にありました。このため、住民のブロードバンド環境の整備と提供側である行政の情報化を共に整備するため、地域公共ネットワークの整備と併せ、加入者系の光ファイバ網も同時に整備することとし、国の支援を受けて、平成17年4月からブロードバンドサービス「e-なかネット」をスタートさせました。

さらに、携帯電話不感地帯の完全解消やIP電話の導入、全国唯一の環境省猛禽類保護センターでのイヌワシやハヤブサのライブ映像などが評価され、今年1月、地域づくり総務大臣賞を受賞しました。(三柏憲生支所長)

城下町の歴史絵巻

合併により、酒田市となった松山地区には、役場に代わって総合支所が設置され、日々の業務にあたっています。

さて、松山地区最大のイベントの松山神社祭典が、5月1日に行われ、藩政時代を偲ばせる武者行列が松嶺地区内を練り歩きました。

この武者行列は、祭典時に市中を回る御輿を警護するために行われたと伝えられており、200年以上続く伝統行事で、市の無形民俗文化財ともなっています。

総勢100名の勇壮な行列を見ようと、多くの市民や観光客が訪れ、盛んにカメラのシャッターを切っていました。また、行列に先立ち、荻野流砲術隊の火縄銃の演舞も行われるなど、歴史絵巻が繰り広げられた一日でした。

(平向與志雄支所長 44回)

お米にこだわりの
お米本米のおいしさを追求しました。

山形産内産米
100%使用

米と塩
だけの
うすき

お近くの盛城石井、クインズ伊勢丹、ザ・ガーデン でお求め頂けます。

酒田米菓株式会社 佐藤 茂(第28回)

〒998-0832 山形県酒田市南町2-24 TEL 0234/22-9541 URL <http://www.sakatabeika.jp/>

～家族の生活空間である
『住まい』を大切に～

カムホームは、お客様毎の暮らしの夢や現在の住まいの課題を基に新しい住まいづくりをお手伝いします。

～暮らしを考えた、住まいづくり～

カムホーム 酒田市大町6-12 TEL0234-26-6868
URL <http://www.hayashikensetsu.co.jp/>

林建設工業株式会社 住宅部

昭和三三年卒 酒田東高校 東京燦燦会 代表 相川俊明 連任 阿部尚記 TEL 0234-22-9541 FAX 0234-22-9540	昭和二九年卒 酒田東・西高校 東京ふくの会 連任 本間 英生 自宅 0234-22-9541 FAX 0234-22-9540	昭和二八年卒 酒田東・西高校 東京二八会 会長 金山義雄 事務局 松戸市小金原七丁目一 五十五 昌七 0234-22-9541 FAX 0234-22-9540	昭和二八年卒 酒田東・西高校 酒東二八会 会長 成田恒夫 酒田市緑ヶ丘二丁目九 0234-22-9541 FAX 0234-22-9540
---	--	---	--

お・知・ら・せ

総会・懇親会では毎年、喜寿の方をお祝いしています。ぜひお出かけください。



17年喜寿を迎えた方々。
左から根上茂三、村上義八郎、佐藤郁雄、後藤健、斎藤昭三の各氏。

酒田



新酒田市誕生！新たな飛躍を目指して
既に皆さまご存知のとおり、平成17年11月1日、酒田市、八幡町、松山町、平田町の1市3町が合併し「新酒田市」が誕生しました。

平成18年度は、実質的には、合併初年度となり、「人いきいき まち快適未来創造都市 酒田」の実現への第一歩となる重要な年です。特に今年は、新市一体感の醸成を図るため、各地域の特徴や魅力に触れられる様々な事業を合併記念事業と位置付けており、多くの皆さんから参加いただき、新しい酒田市の魅力を発見していただきたいと考えています。

去る5月20日、新酒田市の「市民憲章」と新市のシンボルとして市の木、市の花、市の鳥を制定しました。「市民憲章」は、鳥海山や最上川、日本海、庄内平野という自然環境に育まれ、

- 一、美しいまち
- 二、元気なまち
- 三、ぬくもりのあるまち
- 四、豊かなまち
- 五、世界に開かれたまち

の5本の柱でまちづくりの方向性を示しています。市の木「ケヤキ」は、古くから身近な存在として愛されてきた木で、歴史と伝統、伸びゆく本市を象徴し、平野をイメージしています。市の花「トビシマカンゾウ」は、飛鳥で初めて発見された花で、清楚で美しく、海をイメージしています。市の鳥「イヌワシ」は、自然豊かな場所に生息する鳥で、大空を勇壮に飛翔する高貴な姿は、本市の山々をイメージしています。

詳しくは市ホームページ「市の概要、市の紹介」に掲載されていますので、ぜひご覧下さい。

東京電城会会報第二十六号

- 発行 二〇〇六年六月一日
- 発行者 上林 茂
- 編集人 岩谷純子
- 編集 高橋常昭
- 発行所 東京電城会
- 東京都中央区銀座一丁目八十六番
- 共同銀座一丁目ビル五階
- 元木徹法律事務所内
- 高橋企画・編集事務所
- 問合先 四〇四二・六七五・八〇九七
- 四〇四二・六七五・八一九五

昭和三四四年卒
酒田東高校

東京三四会

有志一同

昭和五五年卒
酒田東高校

東京珊瑚の会

有志一同

酒田東高等学校
昭和三六六年卒業

我がが集う

山麓会

ここにあり、集まろう
毎年 八月十五日
於 ベルナール酒田

昭和三九九年卒
酒田東高校

東京39会

昭和四六六年卒
酒田東高校

酒東「異会」

連絡先 高橋常昭
電話 〇四二（六七五）八〇九七
FAX 〇四二（六七五）八一九五

昭和五二年卒
酒田東高校

東京五二回

連絡先 池田明幸
文京区小石川一丁目一四一五〇二
電話&FAX 〇三・三八一・二六三六
Eメール aikeo@adone.ne.jp

昭和五三年卒
酒田東高校

東京ゴミの会

連絡先 進藤 弘
電話 〇三（三五九七）一九三〇
FAX 〇三（三五九七）一九三四

昭和五四年卒
酒田東高校

梧葉会

連絡先 阿部浩美
電話 〇四八（四六七）二三八二

平成18年度総会・懇親会のご案内

誰にとっても「プラスアルファ」 と思える集い

今年の東京亀城会は末字「二」のつく年次が当番です。酒中・酒東を卒業して〇〇年、時の流れは早いものです。それぞれの時にそれぞれの感慨があったと思います。が、共有する事は難しいようです。そこで私たち幹事年の者達は考えてみました。なるべく負担を軽く、誰にとっても「+α」が得られる会をと。それを次に挙げます。

＊懇親会の会費を安くする。一律、六〇〇〇円（但し、学生は無料）

＊今年度の賀詞交歓会に講演がなかったため、懇親会のイベントとして組む。

講演者は新進作家の北重人（本名・渡辺重人四一重生）氏にお願いしました。

＊従来の食品のお土産系は止して、北重人氏の著作『夏の椿』か『蒼火』のいずれかを「作者のサイン入りで」プレゼントさせて頂きます。

＊懇親会の司会を当番幹事の梓

を越え、私達の仲間佐々木亜希子（六五回）さんをお願いしました。

＊年代別の席順を換えました。

まず、皆さんにはお座りになったテーブルの方と語って頂き、しかる後に自由に移動して何方とも交流なさってください。きつと、あなたは何か、つ「+α」を得られるでしょう。その「+α」はご自分で発掘し、ご自分で感じるものだと私たち幹事一同は信じております。

（当番幹事一同）

記

◎日時

六月二十四日（土）正午から。

（受付は三〇分前より）

◎会場

レストラン・キャッスル

〒代田区内幸町一丁目 飯野ビル九階

電話・・・三・三五〇六・五〇七

◎懇親会費

一律六〇〇〇円（但し、学生無料）

◎年会費・・・二〇〇〇円（全員）

価値あるセレモニーを
皆様とともに

営業範囲 関東近県

東京亀城会関係者割引
20%OFF(祭壇料)

<http://www.ntn-jp.com/sougi>

(株)
日典

入退院寝台手配 二十四時間受付

顧問 五十嵐昌士（二八回卒）

東京都大田区大森北3-13-2
(03)3298-0085
sougi@ntn-jp.com

ふるさとの銀行

つながります、
人・夢・情報。



荘内銀行 東京支店

TEL.03-3256-8911

EPSON
EXCEED YOUR VISION

自然と友に。

セイコーエプソングループは
企業活動と地球環境との調和をめざし、
高い目標の環境保全に積極的に取り組み、
良き企業市民としての
社会的責任を果たしていきます。



東北エプソン株式会社

酒田市十里塚166-3 ☎(0234)31-3131(代)
<http://www.epson.co.jp/tohokuepson/>